

青パトが地域にやってきた

地域のつながりで防犯対策

「助けてー」南風小学校のグラウンドに子どもたちの叫び声が響く。青パト車両の出発式が4月15日に行われました。

南風校区には、これまでも青パトがありましたが老朽化のため、校区まちづくり事業で車を買い替えられました。式では、子どもたちに対し、不審者を見かけたら、青パトやパトカーに知らせるよう指導があり、発声練習も行いました。

この日は、自バイも参加。子どもたちは、「かっこいい」と歓声を上げていました。



安心して暮らせるまちをつくるためには地域の協力が不可欠

農業と食から感謝の心を学ぶ

フレッシュ伊都ベジ!!開校式

糸島青年会議所が主催する「フレッシュ伊都ベジ!!」の開校式が4月17日、東風小学校で行われました。

この催しは、農業と食を通じて子どもたちに感謝の心を学んでもらうことを目的としており、4月から9月にかけて、種まきや草むしり、収穫した野菜を使つての料理バトルなど楽しいイベントが計画されています。

参加した子どもたちは、これから始まる農業体験にわくわくしている様子でした。



糸島市内だけでなく、福岡市西区の小学生たちも参加

不足する水を被災地へ届ける

九星飲料工業株式会社で搬送準備

糸島市波多江にある九星飲料工業株式会社では、4月18日、福岡県相馬市に向けた支援物資の積み込み作業が行われました。

搬送されるのは現地で不足している飲用水。2ℓのペットボトル1万6800本がトレーラ12台に積み込まれました。同社は、飲用水の製品がないため、消費者庁に届け出を行い、緊急支援物資としてラベルなしで出荷。

会長の仲原志平さんは、「少しでも被災地の力になれば…」と語っていました。



20トントレーラーに満載される支援物資の飲用水

糸島の芸術をアピールしたい

第5回遊画会作品展

波多江公民館のサークル「遊画会」が主催する水彩画作品展が4月5日から10日にかけて、伊都郷土美術館で開催されました。

同サークルの講師を務める溝口哲平さん（87歳）は全国規模で活動を行っている洋画家。「画家を含めた糸島の芸術家をアピールしていきたい」と語っていました。

館内に展示された水彩画43点と油絵2点からはそれぞれの個性が感じられ、訪れた人たちは和やかな気持ちで鑑賞していました。



絵はもちろんのこと、作品に表れる個性を楽しむ

安心して学校に行つてきます

バス運行が4月から始まりました

糸島市で初となる、生の松原特別支援学校高等部の送迎バス運行が今年の4月から始まり、新入生も含めた9人の生徒が14日から利用を始めた。

今までは自主通学となつており、家族が送迎しないと通学できない状況が続いていましたが、同事業が始まつたことで安心して通学できるようになります。

この日、見送りに来ていた保護者たちは、子どもたちの通学する姿を見て喜んでいました。



楽しみにしていた学校生活。生徒の顔に満面の笑みがこぼれる

「糸島『ラー麦』メン」試作品が完成

新聞記者たちも大絶賛

「これ本当に乾麺ですか。まるでお店で食べているラーメンのようですね」。4月15日に行われた臨時記者会見で、記者たちから次々に高評価の声が上がりました。

「糸島『ラー麦』メン」は、九大と市の連携事業により誕生した試作品で、糸島産のラー麦を100%使用。スープも豚骨と鶏がらを使い、濃厚ながらもろやかな味わいです。

今後は、製品化に向けて、アンケートをとりながら調整を行っていく予定です。



濃厚な豚骨スープにコシのある硬麺。ラーメン好きにはたまらない…